



日本工房時代

古寺巡礼

2021年7月15日(木)～10月3日(日)

9月4日(土)～10月3日(日) 第27回酒田市土門拳文化賞受賞作品展

開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日／9月3日(金) 開館記念日無料開放／10月1日(金)

入館料／一般700円、高校生350円、中学生以下無料

年間券(1年間有効)随時受付、特典あり

普通年間券(3名まで入館可) 3000円

特別年間券(10名まで入館可) 15000円

9/2^(木)
まで

ヒロシマ

大和

日本工房 時代

昭和10年冬、土門は名取洋之助主催の「日本工房」へ入社します。対外宣伝誌『NIPPON』の仕事を中心に、報道写真に取り組みました。伊豆での撮影に始まり、地方や都市の人々の暮らし、そして戦争へと向かっていく日本の姿をそのレンズで克明にとらえています。



1 | 七五三 2 | 娘 3 | 提灯行列

1	2
	3

古寺巡礼 大和

古寺巡礼は土門拳のライフワークです。土門は全国の仏像を撮り歩きましたが、本展では大和(奈良)の寺院で撮影された作品を展示します。法隆寺や東大寺、その生涯で数十回と通い彼が最も愛した室生寺など、奈良の名刹を土門の写真でお楽しみいただけます。



1 中宮寺観音菩薩半跏像 2 東大寺盧舎那仏坐像頭部
3 唐招提寺金堂千手観音立像左脇千手詳細
4 法隆寺観音菩薩立像(百済観音)頭部

1	3
2	4

ヒロシマ

昭和32年7月、初めて広島を訪れ原爆の被害を目の当たりにした土門拳。以後、報道写真家の使命に駆られ、憑かれたように広島に通い詰めました。戦後10年以上を経てもいまだ原爆症と日々闘う人々、町は復興しつつあっても決して消えることなく身心に残る傷、原爆がもたらした憎悪と失意。土門が広島の実実に真正面から向き合い撮影した記録をご覧ください。



1 | 被爆者同士の結婚 小谷夫妻
2 | 金時さん



1	2
---	---

土門拳記念館展示情報 2021

2021年9月4日(土)～10月3日(日)

主要展示室

古寺巡礼 大和

カラー・モノクロ 65点

古寺巡礼は土門拳のライフワークです。土門は全国の仏像を撮り歩きましたが、本展では大和（奈良）の寺院で撮影された作品を展示します。法隆寺や東大寺、その生涯で数十回と通い彼が最も愛した室生寺など、奈良の名刹を土門の写真でお楽しみいただけます。

企画展示室 I

日本工房時代

モノクロ 50点

昭和10年冬、土門は名取洋之助主催の「日本工房」へ入社します。対外宣伝誌『NIPPON』の仕事を中心に、報道写真に取り組みました。伊豆での撮影に始まり、地方や都市の人々の暮らし、そして戦争へと向かっていく日本の姿をそのレンズで克明にとらえています。

企画展示室 II

第27回酒田市土門拳文化賞受賞作品展

鈴木 渉『福島祭祀巡礼』

※9月5日(日)は午前中休館、12:00～開館となります

酒田市では1994年の土門拳記念館開館10周年を機に、写真文化、写真芸術の振興および奨励に寄与することを目的としてこの文化賞を創設しました。今回の公募には全国の124人から128テーマの作品が寄せられました。第27回の受賞作品には、東日本大震災後の福島における祭りに密着した鈴木渉氏の『福島祭祀巡礼』（カラー30枚組）が選ばれました。また、以下3名の奨励賞受賞作品もアルバム（一部額装）で展示します。

宇佐見 富士夫『原発事故避難 いまだ先行き見えず』（モノクロ30枚組）

中田 要『つくり笑いが上手くなりました』（モノクロ30枚組）

吉永 友愛『潜伏キリシタン考』（モノクロ30枚組）

土門拳記念館

〒998-0055 山形県酒田市飯森山二丁目13番地（飯森山公園内）

TEL：0234-31-0028 <http://www.domonken-kinenkan.jp/>